

山口情報芸術センター [YCAM] 展覧会

ムン・キョンウォン+YCAM

「プロミス・パーク・プロジェクト[リサーチ・ショーケース]」

2014年11月1日(土) - 2015年1月11日(日) 10:00 - 19:00 入場無料

山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ

未来の公園とはどのようなものだろうか？

人類にとっての「公園」の役割と意味について構想するプロジェクトの研究成果展示

山口情報芸術センター [YCAM] では、韓国のアーティスト、ムン・キョンウォンとYCAMが昨年から継続的に展開しているプロジェクト「プロミス・パーク・プロジェクト」の研究過程の成果展示を公開します。

このプロジェクトは、近代化によって成立する既存の社会システムが、大災害の発生により崩壊してしまった近未来の都市を想定し、そこにおける「公園／庭園」の形態と意味を構想・提案するものです。このプロジェクトを通じて、人類が持ち得る自然観や都市観、そして公共性について考えます。

本展は、YCAMを中心に、多領域から招いたゲスト・リサーチャーと共同でおこなった研究を、その過程も含めて発表するほか、これまでYCAM InterLabが研究開発してきたテクノロジーを中心にデモンストレーションを公開します。

なお、本リサーチ結果は、2015年度にYCAMで制作する新作インスタレーション作品と合わせて、大規模な展覧会へとアップデートをおこない、発表する予定です。

是非、この機会にご参加ください。



ムン・キョンウォン「プロミス・パーク」
(2013年/YCAM)

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM]

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

「未来の公園」へと繋がる、歴史的な事例研究と、新たなテクノロジーの開発

本展では、YCAMとゲスト・リサーチャーがおこなった調査・研究活動の経過を、会場内で一般に公開をおこないます。経過をオープンにすることで、アーティストや本プロジェクトに参加するゲスト・リサーチャーだけではなく、多様な専門領域の研究者、また一般の来館者とも議論を重ねることで、来年度の新作公開へ向け、「未来の公園」の構想へと繋がる知見を深めることを目的としています。

本展の会場は、「アーカイヴ」と「フューチャー」という2つのパートから構成され、それぞれの研究成果や事例を、テキストや資料を中心に紹介します。また、調査・研究の成果をVR（バーチャル・リアリティ）などの技術により感覚的に体験できるシステムや、これまでYCAM InterLabが研究開発をおこなってきた基礎技術を、デモも含めながら紹介します。

1. アーカイヴ・パート

アーカイヴ・パートでは、未来の公園を考える上での糸口として、文化史、民俗学、芸術史、メディア史、建築史などの側面から、3つの異なる研究事例を紹介します。

ゲスト・リサーチャーの原瑠璃彦（東京大学大学院在籍／日本学術振興会）は、庭園史、民俗史の視点から、公園のひとつの起源と考えられる「庭／庭園」の考察を出発点とし、山口市内の現地調査をおこないました。

また、その他に、早稲田大学の中谷礼仁（建築史）、千葉大学の木下剛（造園・ランドスケープ）、京都工芸繊維大学の清水重敦（都市・建築史）らが参加する運営体による「千年村プロジェクト」の紹介や、アーティストのロバート・スミッソンによるニューヨークのマンハッタン島に位置する都市型公園「セントラル・パーク」に関する研究を例に、目まぐるしく変化し続ける自然環境と人との関わりについて考えます。

2. フューチャー・パート

フューチャー・パートでは「未来の知覚一人間と技術の境界」をテーマに、人と技術の境界が曖昧になったとき、公共と個人が接続する「公園」の在り方にどのような影響を与えるかを論点に、YCAM InterLabが開発した技術を紹介しながら、検証をおこないます。



リサーチのため、山口市名田島の皇后岩を訪れる原瑠璃彦（右）
(2014年10月)

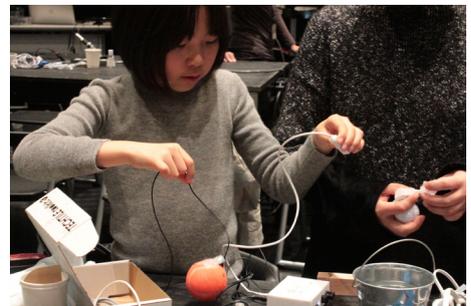
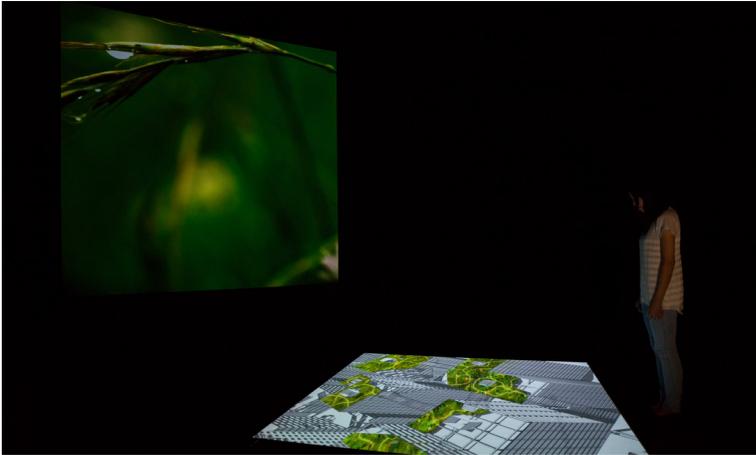


Photo: Flickr by techtile archives
YCAM InterLab Camp テクスタイル集中ワークショップの様子
(2013年/YCAM)

社会システム崩壊後の「公園」の在り方ー「プロミス・パーク」とは



ムン・キョンウォン「プロミス・パーク」
(2013年/YCAM)

「プロミス・パーク・プロジェクト」とは大規模災害により、近代化によって成立してきた既存の社会システムが瓦解した後の共同体を想定し、現実に基づいたリサーチを元に、近未来における「公園」の機能や形態、意味を構想するプロジェクトです。

昨年、YCAM10周年記念祭で開催された国際グループ展「art and collective intelligence (アート・アンド・コレクティブインテリジェンス)」展での作品展示にて、ムンは建築家、景観設計家、植物学者とともに、災害などにより崩壊した2070年の社会を想定して、「未来の公園」を構想しました。そして、高層ビル上で隣接接合し、そこで新たな生態系を表現する床と壁面の2つのスクリーンにプロジェクションされたリニアな映像作品として公開しました。本展では、このプロトタイプをベースに、「公園」、そして「庭/庭園」について焦点をあてることで、既存の社会基盤がリセットされた状況で人類が持ち得る自然観、都市観、公共性について考えます。

現在では、どのような都市にも存在する「公園」は、人間そして生態系にとってどのような意味を持つのでしょうか？

「公園」の意義を広義に捉え、共同体と人や物が交わる公共の場やその境界、または入り口〈ファサード〉としての側面に着目し、人類の文明と生態系の変容、「庭/庭園」との隣接と断絶、私的空間と公共空間の移行と分離、その歴史の痕跡についてのリサーチをベースとしながら、YCAM InterLabが中心となり、「未来の公園」へと繋がる「感覚」を引き起こす技術について基礎的な研究をおこなっていきます。

■ 国際グループ展

「art and collective intelligence

(アート・アンド・コレクティブインテリジェンス)」

YCAM10周年記念祭の一環として開催した国際グループ展。ヨーロッパ、東アジア、中東の6組のアーティストが参加し「集合知 (collective intelligence)」を題材に、アーティスト個人だけでは完結しない、芸術表現の領域から拡張していく作品を紹介した。

会期：2013年7月6日～9月29日

会場：山口情報芸術センター [YCAM] スタジオ B、2階ギャラリーほか、道場門前大駐車場屋上特設スペース

プロフィール

ムン・キョンウォン

ソウル（韓国）生まれ。梨花女子大学校卒業後、カリフォルニア芸術大学にて修士号取得。文学的なアプローチの映像やインスタレーションなど、様々なメディアを通して作品を発表。ソウルスクエアのメディアキャンパスなど、パブリックアートプロジェクトでのインスタレーション展示もおこなっている。主なグループ展に、ドクメンタ13（2012）、光州ビエンナーレ（2012）、シンガポールビエンナーレ（2013）、福岡トリエンナーレ（2014）、モスクワビエンナーレ（2010）、南京トリエンナーレ（2008）、ナムジュン・パイクフェスティバル（2008）がある。近年は、ソーシャルプラットフォームを創造することを目的とした、チョン・ジュンホとのコラボレーションプロジェクト「News From Nowhere」に注力し、2013年にシカゴアートインスティテュート内のサリバンギャラリーでの展示をおこなった他、2015年には、チューリッヒのミグロス現代美術館や、ベネチアビエンナーレ韓国館の代表作家として展示を予定している。

www.newsfromnowhere.kr

原瑠璃彦

1988年生まれ。東京大学大学院総合文化研究科博士課程在籍、日本学術振興会特別研究員。専門は日本の庭園、能・狂言。特に、両分野における原型的な海辺の表象《洲浜》の系譜の研究をおこなう。また、坂本龍一+野村萬斎+高谷史郎による能楽コラボレーション「LIFE-WELL」（2013）、平井優子「猿媚ーThe face of strangersー」（2014）などの舞台作品においてドラマトウルクを担当。

千年村プロジェクト（千年村運動体）

全国の千年以上存続している村〈千年村〉の収集、調査、公開、顕彰、交流のためのプラットフォームとして始動したプロジェクト。建築史学、建築デザイン、社会環境工学、造園学、景観デザイン、民俗学、歴史地理学、ウェブデザインに携わる研究者・実務者らが参加。早稲田大学の中谷礼仁（建築史）、千葉大学の木下剛（造園・ランドスケープ）、京都工芸繊維大学の清水重敦（都市・建築史）らを中心に東日本大震災後に決起し、2014年度より本格的な組織活動をおこなっている。

mille-vill.org

YCAM InterLab

山口情報芸術センター [YCAM] に附属する研究開発チーム。主にYCAMが委嘱作品として発表するインスタレーション作品やパフォーマンス作品などの技術的な開発をおこなっている。また、これに関連してメディアテクノロジーを芸術表現へ応用するための研究もおこなっており、国内外から研究者を招聘する共同研究などにも積極的に取り組んでいる。

開催概要

ムン・キョンウォン+YCAM

「プロミス・パーク・プロジェクト [リサーチ・ショーケース]」

2014年11月1日（土）ー2015年1月11日（日） 10:00ー19:00

休館日：火曜（祝日の場合は翌日）、12月29日ー1月3日 入場無料

山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ

原瑠璃彦、千年村プロジェクト（千年村運動体）、YCAM InterLab

主催：公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市、山口市教育委員会

平成26年度文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ

共同開発：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]



関連イベント

デモンストレーション開催日

日時：11月8日（土）、11月22日（土）
12月7日（日）、12月20日（土）、12月27日（土）
2015年1月4日（日）、1月10日（土）
各回14時から（30分程度）

参加無料